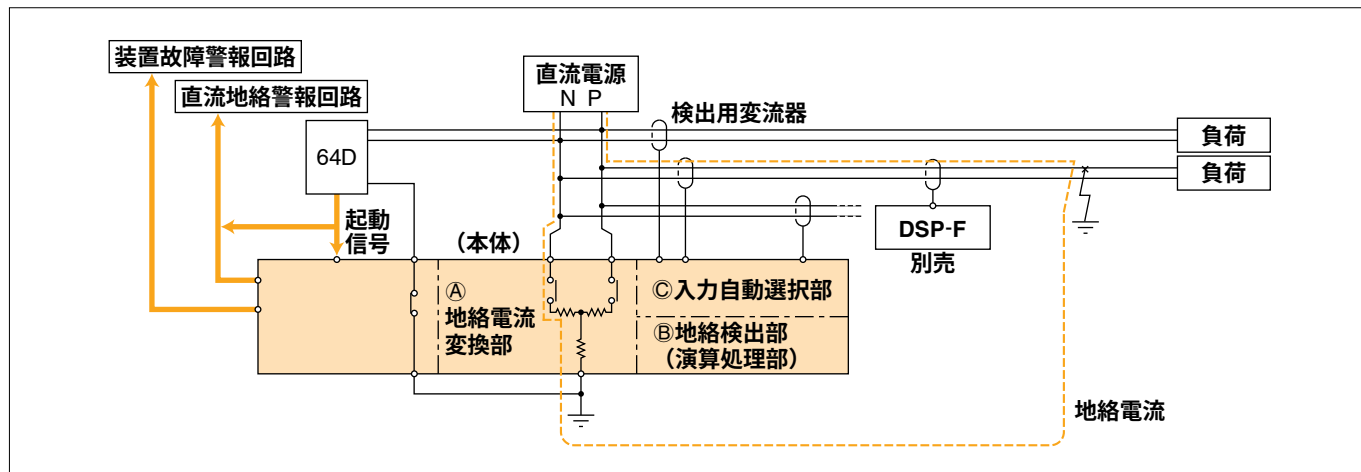


動作概要



- 1 直流電路地絡検出装置は、設備の直流地絡継電器（64D）の地絡故障信号を受けて、動作を開始します。
- 2 始動すると、同時に64Dの接地を切り離します。
- 3 地絡電流変換部で、直流の地絡電流に5Hzの正弦波を含む直流電流に変換します。
- 4 地絡が発生している極と回路全体の地絡抵抗値を、ディスプレイ（装置表示面）に表示します。
地絡発生年月日時分・地絡抵抗などを、DS-MNBは内蔵のプリンターで印字、DS-MKA2はMMCへ記録します。（記録機能）
- 5 入力自動選択部において、検出用変流器からの信号を1秒毎に順次切り替えます。
- 6 検出用変流器からの信号を地絡検出部において、増幅・ろ波して、判定方程式により演算し、地絡判定します。
この結果を、DS-MNBは内蔵のプリンターで印字、DS-MKA2はMMCへ記録します。
- 7 地絡回路と判定された回路は、DS-MNBの場合は印字されたプリントアウトの回路番号列の右端に"F"が印字されます。
DS-MKA、DS-MKA2の場合は装置表示面の回路番号LEDが点灯します。さらにDS-MKA2はMMCへ記録します。
- 8 地絡が解消または消滅すると、自動的に待機状態に戻ります。
DS-MKA、DS-MKA2は装置表示面の回路番号LEDの表示が保持されます。（リセットボタン操作で表示リセットします）
- 9 切り離していた64Dの接地を、接続して元の状態に戻します。

仕様

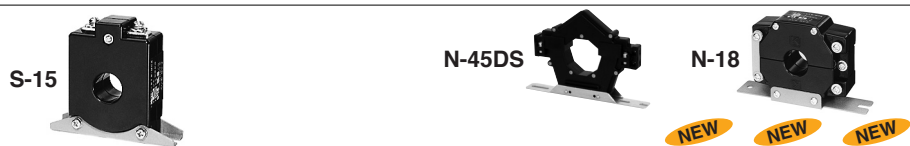
生産終了予定品

NEW

型式	DS-MNB		DS-MKA	DS-MKA2
ご注文品番	DSMNB48	DSMNB64	DSMKA	DSMKA2
地絡検出回路数	48	64	20	20
A 地絡電流変換部	発振周波数 5Hz（正弦波）			
	適応直流電源（検出回路電圧） DC110V（90～140V） DC110V以外については、別途お問い合わせください。			
B 地絡検出部	地絡検出能力 10kΩ未満 電路全体の対地静電容量600μF以下で、1回路 100μFまで			
C 入力自動選択部	入力数 48		20	20
	検出時間※ 1入力/1秒		2入力/1秒	2入力/1秒
記録部	サーマルプリンター		なし	MMCスロット
電源部	DC110VまたはAC100V		被検出回路の直流電源から取得	被検出回路の直流電源から取得
地絡抵抗表示	99.9kΩまで		99kΩまで	99kΩまで
消費電力	30W（動作時）		20W（動作時）	20W（動作時）
外形寸法（タテ×ヨコ×フカサ）	300×430×330mm（383mm：取付金具含む）		204×430×355mm （端子台、パネル等の突起物は除く）	204×430×355mm （端子台、パネル等の突起物は除く）
質量	18kg（本体）（21kg：取付金具含む）		16kg	16kg

※対地静電容量およびノイズが多い場合、長くなる可能性があります。

直流電路地絡検出用変流器



貫通形	型式	S-15	S-30	S-40	S-55	S-68
	ご注文品番	UDA00	UDA52	UDA53	UDA54	UDA55
	貫通穴径φ（mm）	15	30	40	55	68

分割形	型式	N-18	N-30DS	N-45DS	N-65DS
	ご注文品番	UDA30	UDAN30DS	UDAN45DS	UDAN65DS
	貫通穴径φ（mm）	18	30	45	65